

# 愛管株式会社 認可保育園「れんりの子」

未来の環境リーダーを育てる 認可保育園「れんりの子」小さな保育園から始まる大きな変革

## 取組概要

●愛管株式会社が運営する認可保育園「れんりの子」では、保育を通じて「未来の環境リーダーを育成する」ことを目的に様々なことに取り組んでいます。脱炭素の取組を学ぶ一環として、地中熱を活用するビニールハウスでは、園児たちは環境にやさしいエネルギー利用を学んでいます。「こどものうえん」が併設されており、子どもたちが自ら作物を育て、給食の食材として利用したり、自ら調理して食べたりといった食農保育をしています。



## はじめたきっかけ

愛管株式会社中村代表取締役の「保育園での素敵な体験をもっと多くの人々に提供したい」という強い願いから、認可保育園「れんりの子」を設立しました。保育園での特色である食農保育の提供により、自分で考え、自分で行動できる「生きる力」を育み、未来のリーダーとして成長を促しています。

## ポイント

地中熱利用ビニールハウス、廃材リサイクルなど、地域の環境と経済活動を同時に促進し、持続可能な未来への実践的な歩みを提案する取組です。幼い頃からSDGsに携わった園児たちが、将来日本の経済を牽引するリーダーになると考えており、長期的な視野で取り組む投資となっています。

## 地域課題と取組成果

未来の環境リーダーを育成するという点において、食農保育、廃材リサイクルは、子どもたちの創造力を刺激しています。また、地中熱利用ビニールハウスは、実例が少ない中で注目を集めており、保育園の見学や高校生からの取材など、様々な機会が生まれています。教育活動が地域社会に広がり、保育園は高い評価をいただいています。園児への食育保育を通じて、保護者の食に対する考え方や行動にも変化が見られるようになりました。地中熱利用や廃材リサイクルなどのプロジェクトは、地域のサステナビリティ意識向上や農産物の価値再発見に貢献しています。また、これらの活動は環境保護と経済促進を両立し、視察や取材の機会を通じて広がりを見せています。

●事業内容 保育園の運営

●創業年 2020年

●従業員数 140名

●HP URL <https://hoikuen-lenri.com/>

## ● 保育園事業を始めたのはなぜですか？

私はひとり親で、父と祖父と祖母に育てられました。お寺が運営する保育園に通っていて、お寺のご家族とともに成長したと言ってもいいほど、とても楽しい時間を過ごすことができました。あの時間がなかったら、きっとグレていたはずですよ（笑）。この体験を多くの人に伝えたいと思い、父に保育園事業の提案をしたところ、初めて「いいじゃないか」と言ってくれました。偶然にも、敷地の隣に保育園の設計を専門とする設計士がいらっしゃいました。農園があり、レストランなどを併設するこの環境が、保育園の一番の魅力になると感じていました。調整区域にあるため農業しかできなかったのですが、それを逆手にとり、農業ができる保育園を立ち上げたいと考えました。



## ● 保育園にSDGsをどのように活用していますか？

最初は保育園でできることはないと思っていました。「子どもたちができることなんて、残さず食べるとか、ゴミを捨てないといったことぐらいですよ」と伝えたら、「それでいい」と言われました。改めて保育園でしている活動を書き出してみたら、食農保育は「12つくる責任、つかう責任」「15陸の豊かさを守ろう」など、地域交流では「11住み続けられるまちづくりを」など、SDGsに当てはまるものがいろいろあることに気づきました。普段何気なくしている活動が、全てSDGsにつながっているという話を子どもたちにすると、彼らも少しずつ意識し始め、自分で食べられる量を自分で決めるようにしたことで、今では残食がほぼゼロになりました。



いつもしている活動がSDGsの取組みで、こんなに小さな保育園が、世界のためにできることはないと思っていましたが、浜松を住みやすくすることがSDGsにつながるのなら、自信を持って「SDGsを実践している」と言うことができます。

「好循環」という言葉は、この保育園の理念にもあります。「愛情をたっぷり受け、信頼できる環境で育った子どもたちは、周りの大人たちを成長させる」という育て合いの好循環を生み出し、情緒の安定、保護者の心のゆとり、地域社会への貢献へとつながっていきます。

## ● みんなが好循環を与え合う状態を作ることが、SDGsが目指す本当のゴールですね。

好循環という言葉と出会ったのは、父が亡くなり、愛管の経営理念を作らなければならなくなったタイミングでした。最初に知ったのは生態系の話で、食物連鎖がうまく回ると自然環境が保たれるといった内容でした。好循環ってとても良い言葉だなと思い、それをどう生活に組み入れられるか考えていると、「暮らし(Life)」という言葉が浮かび、「幸せの好循環」という愛管の経営理念につながりました。ハーバード大学が幸福と健康の調査を行い、人の幸せは生まれや育ち、頭の良さや学歴、家庭の事情や資産ではなく、「良い人間関係」を築いているかが大きく影響していると結論づけました。孤独では幸せになれませんが、信頼できる仲間がひとりでもいれば、幸せになれると言っています。私は、「暮らしの好循環」や「幸せの好循環」というものを進めていかなければならないと考えています。それが地域社会の発展や、浜松の成長につながってくれたら、こんなにもうれしいことはありません。そして、実際にこうした会社の理念に賛同し、東京などから浜松市に移住して働いてくれる若者も出てきています。

